

令和4年度中野市長定例記者会見（11月） 顛末

- 期 日 令和4年11月24日（木）
- 時 間 午後1時30分～1時51分
- 会 場 市役所4階 52・53号会議室
- 出席社 5社（北信ローカル、テレビ北信、信濃毎日新聞、新建新聞、読売新聞）

<質疑応答>

【信濃毎日新聞】

一般会計予算の補正で14億9千万円くらいの減額と口頭で説明があったが、市民会館リノベーション工事の工期延長および全体事業費の見直しにより、リノベーション工事自体は事業費が増額していると思うが、これは例えば債務負担行為などで来年度以降に事業費を送るという事か。

【企画財政課長】

市民会館リノベーション工事については増額であります。そのほか、人件費の変更等により減額となっております。詳細は別途ご説明します。

【信濃毎日新聞】

オープンイノベーションプログラムについて2点伺いたい。

一点目は、オープンイノベーションプログラムというのは高齢者の方などには伝わりづらいと思う。日本語で説明するとどのような意味になるか。もう一点は、連系企業2社の業種は何か。

【経済部長】

新しい技術や取り組み、新製品の開発に際して、企業の枠を超えて知識・技術の集結を図るという意味になります。市民の皆さまには分かりやすく説明していきたいと考えています。こちらは県の事業に市が乗らせていただき、重点推進枠の4市村のうちの一つとして選んでいただき、これから進めていく事業となりますので、よろしく申し上げます。

連携企業ですが、まずXYZ㈱はブランディングや商品の開発、イベント企画な

どを行っている松本市に拠点を置く企業であります。

（株）おてつたびは人手不足に悩む農家などの事業者と農業などに興味のある若者をつなぐマッチングサービスを行っている企業であります。拠点は東京都です。